

令和3年12月吉日  
日本溶射学会 中部支部  
支部長 安井 利明

中部支部第16期・第2回溶射技術研究会開催案内

共催：溶接学会東海支部

前略 日頃より当研究会に対しまして格別の御理解，御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて，中部支部第16期第2回溶射技術研究会を溶接学会東海支部との共催により下記の通りに開催致しますので，ここに御案内申し上げます。御多忙とは存じますが，貴重な勉強の機会ともなりますので，何卒ご出席を賜りますよう御願ひ申し上げます。

草々

研究会テーマ 「レーザクラディング関連技術の最新動向」

- 日時：令和3年1月27日（木）13：10～16：10
- 場所：Microsoft Teams によるオンライン開催（参加費無料）  
※お申込みいただいた方へ三重大大学のアカウントより招待メールをお送りします。  
※事前接続テストを1月24日11：00～14：00に実施します。  
必要な方はご参加ください。
- 研究会プログラム  
13：10 開会の挨拶  
13：15 「レーザクラディング関連の新技术」 愛知産業株式会社 木寺 正晃 氏  
14：05～14：15 休憩  
14：15 「新日本溶業におけるレーザ肉盛施工事例」 新日本溶業株式会社 福田 優太 氏  
15：05～15：15 休憩  
15：15 「金属と樹脂の直接接合のための金属表面処理」 輝創株式会社 前田 知宏 氏  
16：05 閉会の挨拶
- 申込み先 下記様式を用い溶接学会東海支部事務局宛てに1月20日厳守にて電子メールにてお申し込み下さい。 E-mail：[jws@met.mach.mie-u.ac.jp](mailto:jws@met.mach.mie-u.ac.jp)
- オンラインにおける特記事項 受講者は，① 当方から送付する受講案内（招待メール）に記されたURL等の受講者限定情報を第三者に伝えないこと，② 講演画面，質疑応答等を録画・録音・撮影(画面キャプチャーを含む)・保存・再配布しないこと，③ 受講者以外に講演を視聴させることや受講者以外が講演を視聴可能な状態にしないことを誓約し申込みをして下さい。申込みを頂いた時点で誓約したものとします。④ 資料配布の希望がある講演のみ Google ドライブにより資料を配布する予定です。配布方法は後日連絡します。

以上

\*\*\*\*\* 出欠回答書（回答期限1月20日）\*\*\*\*\*  
溶接学会東海支部事務局 御中

所属：

氏名：

連絡先： TEL

FAX

e-mail

@

研究会に

出席します

欠席します

(いずれかに○を付けて下さい)

## 6. 講演概要

### 1) 「レーザクラッディング関連の新技术」

木寺 正晃 氏 (愛知産業株式会社)

レーザクラッド技術が日本で使用されるようになり、大凡 10 年程度が経過した。最近では DED 方式の AM 技術として数えられるようになり、クラッディングだけでなく造形技術としての使用例も出始めた。今回はこのレーザクラッドに関する技術の最新動向として、下記の技術を紹介する。

- ①EHLA と呼ばれるハイスピードクラッディング技術
- ②プール幅の制御による品質管理システムであるクラミール
- ③レーザクラッディング技術の AM 応用
- ④小型アトマイザを利用した合金開発

### 2) 「新日本溶業におけるレーザ肉盛施工事例」

福田優太 氏 (新日本溶業株式会社)

工場設備などの各種部品に対し、表面改質技術である肉盛溶接を用いることで新たな機能を付加することができる。新たな機能としては耐摩耗性、耐食性、耐熱性などが挙げられる。また、従来の溶接法と異なりレーザを熱源として使用することで、熱による影響を最低限に抑えられ高品質な肉盛層を得られることができる。これらレーザの特徴と肉盛溶接技術を組み合わせ、取り組んだ肉盛製品づくりを紹介する。

### 3) 「金属と樹脂の直接接合のための金属表面処理」

前田 知宏 氏 (輝創株式会社)

金属と樹脂を直接接合するための金属表面処理技術である PMS 処理を紹介する。PMS 処理は金属表面に隆起した微細な凹凸形状を形成する処理であり、形成可能な金属はアルミなどの軽金属から各種鋼材まで処理可能で、接合可能な樹脂は炭素繊維強化プラスチックを含む熱可塑性プラスチックである。接合技術は射出成型のみならず成形済みプラスチックとの接合も可能であり、各種接合技術も併せて紹介する。